

はじめに

「子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。by デビットソン」「今後10～30年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い。by オズボーン」学識経験者が語るこれらの未来は、私たち学校現場に大きな衝撃を与え、H27.8には、文科省から次期学習指導要領の論点整理が出されました。そこには、「社会に開かれた教育課程」、3つの資質能力、アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントを連動させた学校経営等々、学校が果たすべき役割、教育活動の改善の方向が明確に示されています。

本県も本年度「グローバル人材の育成」「生きる力の基礎のはぐくみ」「いじめや不登校などへの的確な対応」「特別支援教育のニーズへの対応」の4つの重点施策を掲げ、取組を進めてきました。上益城管内においては、最重要課題「確かな学力」の定着への取組を筆頭に、「いじめ・不登校対策の徹底」「教育活動全体を通じた体力の向上」の3つに重点を絞り、取組を進めております。

その結果、上益城管内一丸となって取り組んでいただいた「めあてとまとめを示す活動を計画的に取り入れたか」について、県学力学習状況調査において、小99.7%、中99.2%、県平均比小+1.2、中+2.5、前年度比小中ともに伸びが見られ、上益城教職員集団全員による確かな一歩を実感させていただきました。

本年度版「みどりかわ」では、学校訪問やヒアリング、各種調等を通して把握した管内教育の現状と課題を明確にし、それらの課題解決に役立つ資料をお届けすることにしました。上益城教職員集団二歩目の具体的な取組を掲載したつもりです。

子どもたちは、大きな変化のうねりの中で生きています。だからこそ子どもたちには、その変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意思を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切りひらいていく力を身に付けてほしい。そのために、是非、各学校、先生方個々のニーズに応じて、本「みどりかわ」を御活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、多方面にわたって御協力いただきました各町教育委員会、各学校に対し、深く感謝するとともに、上益城の教育のますますの充実・振興を祈念申し上げます。

この「みどりかわ」が、「子どもたちの心への点火を可能にする、先生方自身の生命の火の点火 by 森信三」となりますよう。

平成28年3月

熊本県上益城教育事務所
所長 緒方 登志子